

# press release

2009年3月4日

(これは、ロンドンにて3月3日付で配信したものを、日本の皆様に向けて抄訳したものです)

## スタンダードチャータード銀行 2008年度決算発表

税引き前利益45.7億米ドル(前年比13%増)、営業収益139.7億米ドル(前年比26%増)を計上

—ホールセールバンキング部門の業績は前年度に引き続き大変好調な伸びを示し、  
グループ全体の顧客預金残高は31%と飛躍的な増加—

スタンダードチャータードPLC (スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社。本社:ロンドン、CEO:ピーター・サンズ)の2008年度における業績(3月3日付で発表)は、営業収益139.7億米ドル(前年比26%増)、税引き前利益45.7億米ドル(前年比13%増)と、昨年下半年から特に厳しさを増した市況下において、前年度に引き続き大変好調な結果となりました。その収益成長の約8割はオーガニック成長によるものです。

2008年度上半期には地域間における好調な貿易フローにより主要市場全般にわたり堅調な経済成長が見られた半面、同下半期には世界規模で金融危機による実体経済へのインパクトが出始めたことから、成長率が鈍化しました。

このような市況下にあり、当行グループは、2008年度の顧客預金残高伸び率31%(概ね、金融機関に対する信頼感が低下した第4四半期に増加)を記録し、「質への逃避」を優先する金融機関として高い信頼を築くことができました。同様に、昨年12月の増資により確保されたさらに高い流動性と堅固なバランスシートに支えられ、現在、市場において顧客サポートや市場シェア獲得のための優位なポジションを有しています。

当行グループCEOであるピーター・サンズは、「今後も引き続き事業展開を行い、お客様がこの市場の荒波を乗り切れるようサポートする所存です。また、この難局から生ずるビジネスチャンスをつえるとともに、明瞭かつ一貫した事業戦略を保持し、さらなる成長への投資を進めてまいります」と述べています。

2008年度は、当行が事業展開する主要地域市場において、そのほとんどが堅調な業績を上げています(9地域市場のうち7市場で、10億ドルを超える営業収益を計上)。各地域・国における税引き前利益の伸び率は、シンガポール67%、インド37%、中東・南アジア諸国(MESA)25%、韓国10%、アフリカ諸国5%となっています。一方、香港における同利益は、好調な上半期に反して下半期におけるマクロ経済環境の悪化から、15%下落しています。

今回の好業績は、業績更新を果たしたホールセールバンキング部門の営業収益74.9億米ドル(前年比43%増)、税引き前利益30億米ドル(前年比28%増)に牽引されたもので、商品カテゴリー全般、市場全域にわたる増益につながりました。その中でも、グローバルマーケット、トランザクションバンキング両事業における収益成長率が各々60%、31%と飛躍的な伸びを示しています。また、「クライアントリレーションシップを深める」という当行の事業戦略が、優良顧客上位50社からの収益が45%増加し、また、1,000万米ドル超の収益をもたらす顧客数は88%増加しました。

2008年度におけるコンシューマーバンキング部門の収益成長率は3%ですが、同部門傘下にあるウェルスマネジメント事業の業績がアジア株式市場の悪化を受けて急速に低迷し、税引き前利益は33%の下落となっています。ウェルスマネジメント事業の収益成長率は、通年で6%、一方、グループが注力するもうひとつのビジネスである中小企業向け(SME)金融事業では8%を記録しました。コンシューマーバンキング部門は、ウェルスマネジメント事業のオフリング再編成に取り組み、コールセンター統合を含むリエンジニアリング(根本的な革新)プロジェクトやシステム基盤・業務システム・商品の標準化により、ビジネス全般にわたる生産性、顧客サービスの向上に努めています。

下半期においては、法人・リテール顧客向けの融資環境がますます悪化し、債務不履行の増加へとつながりました。その結果、融資の減損率が74%上昇、減損額は少額レベルから13億米ドルまで増加しました。これを受けて、当行グループは現在、貸出条件の厳格化等の積極的なリスク管理、融資担保の増強、資金回収活動の改善に取り組んでいます。

2008年度は、優先事項としてバランスシート管理に注力してまいりましたが、12月に実施した27億米ドルの増資により、自己資本比率(Tier1)が10.1%、総自己資本比率が15.6%と改善が見られ、双方ともにグループの目標基準範囲を上回っています。また、預金残高増強により、預貸率は、中間期の84%から75%へと改善が見られました。

ピーター・サンズは以下のようにコメントしています。「2009年、私どもは幸先の良いスタートを切ることができました。ホールセールバンキング部門における今年1月の業績は昨年同月と比べ大変好調なものとなり、引き続き市場シェアを伸ばしています。また、コンシューマーバンキング部門は、今後も預金残高増強と高い流動性確保のための役割を担っていくこととなります」

詳細につきましては、以下の担当者へご連絡ください。

日本語での問い合わせは、以下へご連絡ください。

Christopher Domitter(クリストファー・ドミター)

スタンダードチャータード銀行在日支店コーポレートアフェアーズ部部長

[Christopher.Domitter@standardchartered.com](mailto:Christopher.Domitter@standardchartered.com)

03 5511 1361

Arijit De, Head of Media Relations

+44(0)20 7885 7163

## 財務実績ハイライト

(単位: 百万米ドル)

グループ	2008 年度	2007 年度	増減(%)
営業収益	13,968	11,067	26
費用	7,611	6,215	22
融資の減損	1,321	761	74
税引き前利益	4,568	4,035	13
<b>ホールセールバンキング部門</b>			
営業収益	7,489	5,243	43
税引き前利益	3,001	2,347	28
<b>コンシューマーバンキング部門</b>			
営業収益	5,952	5,806	3
税引き前利益	1,116	1,677	(33)

## 税引き前利益(国・地域別)

(単位: 百万米ドル)

国・地域	2008 年度	2007 年度	増減(%)
香港	1,014	1,193	(15)
シンガポール	744	446	67
マレーシア	235	236	(0)
韓国	358	324	10
その他アジア太平洋 地域	463	572	(19)
インド	943	690	37
MESA 諸国	736	591	25
アフリカ諸国	312	298	5
米州・英国・欧州諸国	(237)	(315)	25

## スタンダードチャータード銀行－アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータード PLC は、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースで FTSE100 構成銘柄の上位 25 社にランキングされています。ロンドンに本拠地を置く当行グループは、創立以来 150 年以上の歴史を誇り、世界で最もダイナミックな市場－アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として事業展開しています。また、この 5 年間で収利益共に 2 倍強の成長を達成いたしました。これは事業母体からの収益成長（オーガニック成長）に加えて買収事業の後押しによるものです。

スタンダードチャータード銀行は、お客様のニーズに注力した世界最高の国際銀行を目指しています。当行グループが計上する営業収益および営業利益の 9 割以上は、アジア・アフリカ・中東地域で事業展開するホールセールバンキング・コンシューマーバンキング両部門の事業収益から創出されています。また、世界 70 カ国以上で 1,600 店舗を展開するグローバル事業ネットワークを有し、その市場やビジネスにおける飛躍的な成長により国際的なキャリア構築の機会を生み出しているのです。

当行グループでは、ステークホルダーである皆様の「真のパートナー」として長期的視野に立ったサステナビリティ（持続性）のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでの企業統治（コーポレートガバナンス）を保持すると共に、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成にも力を注ぐことで、世界中の信頼を勝ち得ています。現在、125 以上の国籍により構成される総勢 70,000 余名の行員（その約半数は女性）を擁し、上級管理職の国籍は 68 に及んでいます。

## 日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した 1880 年にさかのぼり、今年で 129 年となりました。現在では、東京支店（千代田区・山王パークタワー）および丸の内支店（千代田区・岸本ビル）において約 290 名の従業員を擁しています。スタンダードチャータード銀行は、アジア・アフリカ・中東の各地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けにホールセール（大口金融）、カストディ、トレジャリー、トレードファイナンス等の金融サービスを提供するほか、2005 年には個人のお客様向けに「プライオリティバンキング」部門を開設し、さらなる成長を続けています。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト（英語）：[www.standardchartered.com](http://www.standardchartered.com)

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト（日本語）：[www.standardchartered.co.jp](http://www.standardchartered.co.jp)

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト（英語）：

[www.standardchartered.co.jp/index\\_english.html](http://www.standardchartered.co.jp/index_english.html)